

調査概要

◆ 調査の目的

都内在住外国人の増加により、日本人と外国人が地域で共に暮らし、活躍していく多様化共生社会を実現するため、やさしい日本語についての意識調査を実施し、より効果的なやさしい日本語普及啓発事業に資することを目的に本調査をおこなった。

◆ 調査項目

- (1)外国人との接触機会
- (2)やさしい日本語の認知度/認知経路
- (3)やさしい日本語の使用頻度/使用場面
- (4)やさしい日本語の使用希望
- (5)災害や行政の情報でのやさしい日本語の取り組みの認知度

◆ 調査対象 都内在住16歳以上の男女

◆ 調査手法 インターネットモニターを対象とするWeb調査

	2022年	2023年
◆ 調査時期	3月18日~22日	2月27日~3月3日
◆ 回収結果	2,303サンプル	2,333サンプル

◆ サンプル属性の内訳

都内在住の16歳以上の男女均等割り付け

2022年サンプル属性内訳（性年代別）

	全 体	20代以下男性	30代男性	40代男性	50代男性	60代以上男性
(実数)	2,303	202	224	235	237	240
(%)	100.0	8.8	9.7	10.2	10.3	10.4

	全 体	20代以下女性	30代女性	40代女性	50代女性	60代以上女性	20代以下その他
(実数)	2,303	217	237	235	237	233	6
(%)	100.0	9.4	10.3	10.2	10.3	10.1	0.3

2023年サンプル属性内訳（性年代別）

	全 体	20代以下男性	30代男性	40代男性	50代男性	60代以上男性
(実数)	2,333	207	235	235	237	248
(%)	100.0	8.9	10.1	10.1	10.2	10.6

	全 体	20代以下女性	30代女性	40代女性	50代女性	60代以上女性	20代以下その他
(実数)	2,333	216	233	238	239	243	2
(%)	100.0	9.3	10.0	10.2	10.2	10.4	0.1

過年度比較資料

やさしい日本語の認知度（全体）

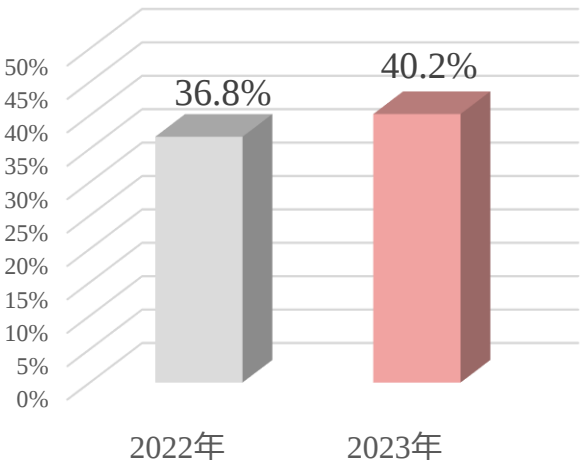
- やさしい日本語の認知度について、2022年と2023年を比較した。
- やさしい日本語の認知度は2022年は36.8%、2023年は40.2%で3.4ポイント増加した（グラフ1参照）。
- 回答の内訳をみると、「よく知っている」は0.2ポイント減少、「ある程度知っている」は2.4ポイント増加、「あまり知らないが、見たこと、聞いたことがある」は1.4ポイント増加、「全く知らない」は3.4ポイント減少していることから、全体を通して、やさしい日本語の認知度が上昇していることがわかる（表1参照）。

表1 やさしい日本語の認知度（全体）

	よく知っている	ある程度知っている	あまり知らないが、見たこと、聞いたことがある	全く知らない	知っていると回答した人の合計
2022年	4.0	12.5	20.2	63.2	36.8
2023年	3.8	14.9	21.6	59.8	40.2
前年比	➡ -0.2	⬆ 2.4	⬆ 1.4	⬆ -3.4	⬆ 3.4

(%)

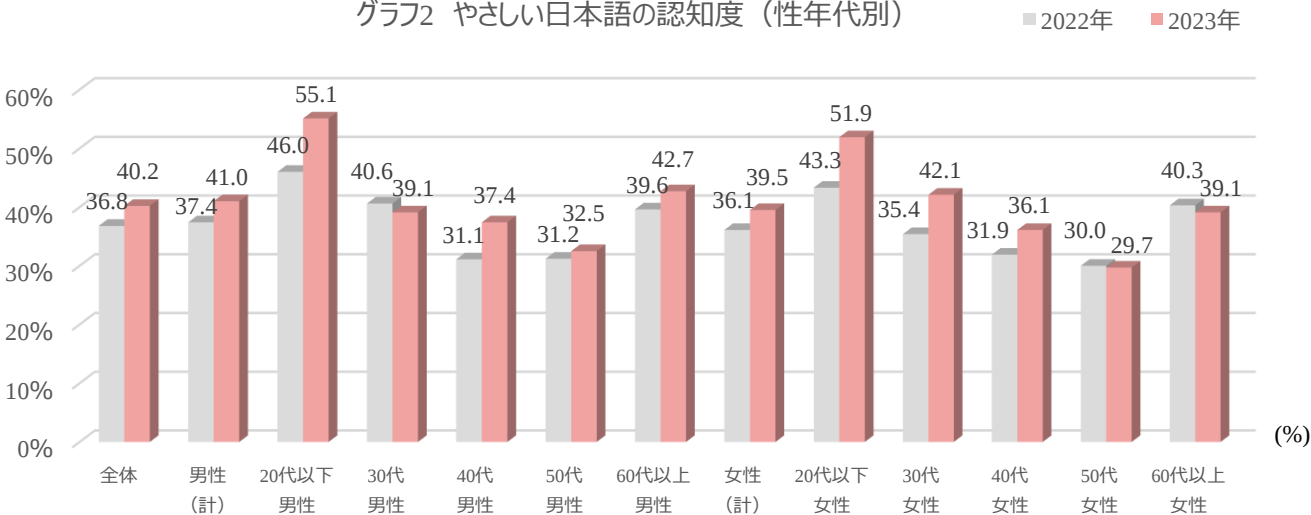
グラフ1 やさしい日本語の認知度



やさしい日本語の認知度（性年代別）

- やさしい日本語の認知度について、性年代別で2022年と2023年を比較した。
- 「20代以下男性」は9.1ポイント増加、「30代男性」は1.5ポイント減少、「40代男性」は6.3ポイント増加、「50代男性」は1.3ポイント増加、「60代以上男性」は3.1ポイント増加、「20代以下女性」は8.6ポイント増加、「30代女性」は6.7ポイント増加、「40代女性」は4.2ポイント増加、「50代女性」は0.3ポイント減少、「60代以上女性」は1.2ポイント減少している。
- 特に「20代以下男性」「40代男性」「20代以下女性」「30代女性」は、2022年に比べて5ポイント以上も増加していることがわかる（グラフ2参照）。

グラフ2 やさしい日本語の認知度（性年代別）



やさしい日本語の認知経路

- やさしい日本語を知っていると回答した人にやさしい日本語の認知経路を尋ね、2022年と2023年を比較した。

➤ 全体をとおして横ばいに推移しているが、「病院・薬局」で3.0ポイント増加していることから、やさしい日本語の認知経路として「病院・薬局」から認知することが2022年よりも微増していることが分かる（グラフ2・表2参照）。

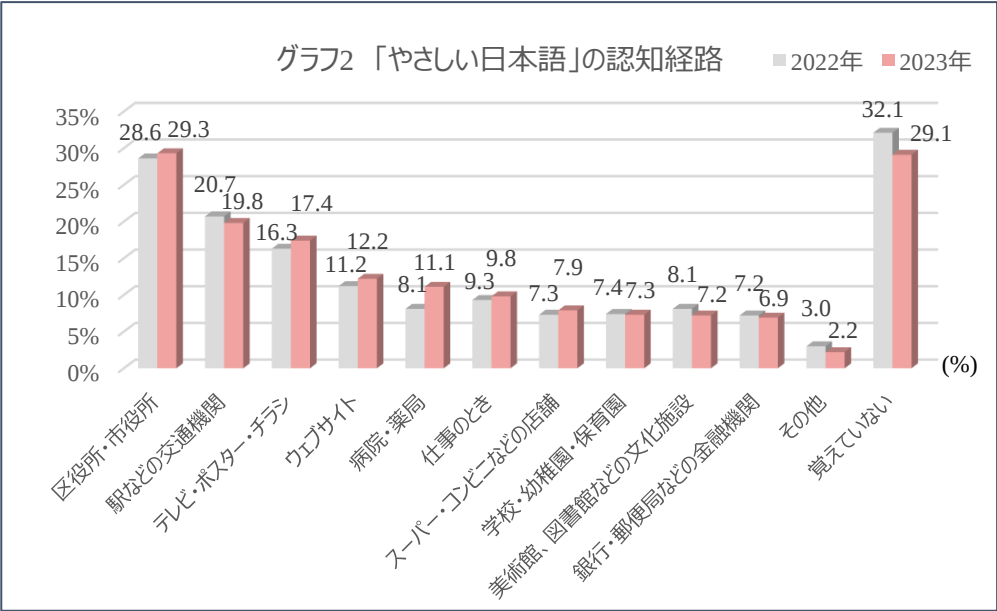


表2 やさしい日本語の認知経路（複数回答可）

	区役所・市役所	駅などの交通機関	テレビ・ポスター・チラシ	ウェブサイト	病院・薬局	仕事のとき	スーパー・コンビニなどの店舗	学校・幼稚園・保育園	美術館、図書館などの文化施設	銀行・郵便局などの金融機関	その他	覚えていない
2022年	28.6	20.7	16.3	11.2	8.1	9.3	7.3	7.4	8.1	7.2	3.0	32.1
2023年	29.3	19.8	17.4	12.2	11.1	9.8	7.9	7.3	7.2	6.9	2.2	29.1
前年比(%)	➡ 0.7	➡ -0.9	⬆ 1.1	➡ 1.0	⬆ 3.0	➡ 0.5	➡ 0.6	➡ -0.1	➡ -0.9	➡ -0.3	➡ -0.8	⬇ -3.0

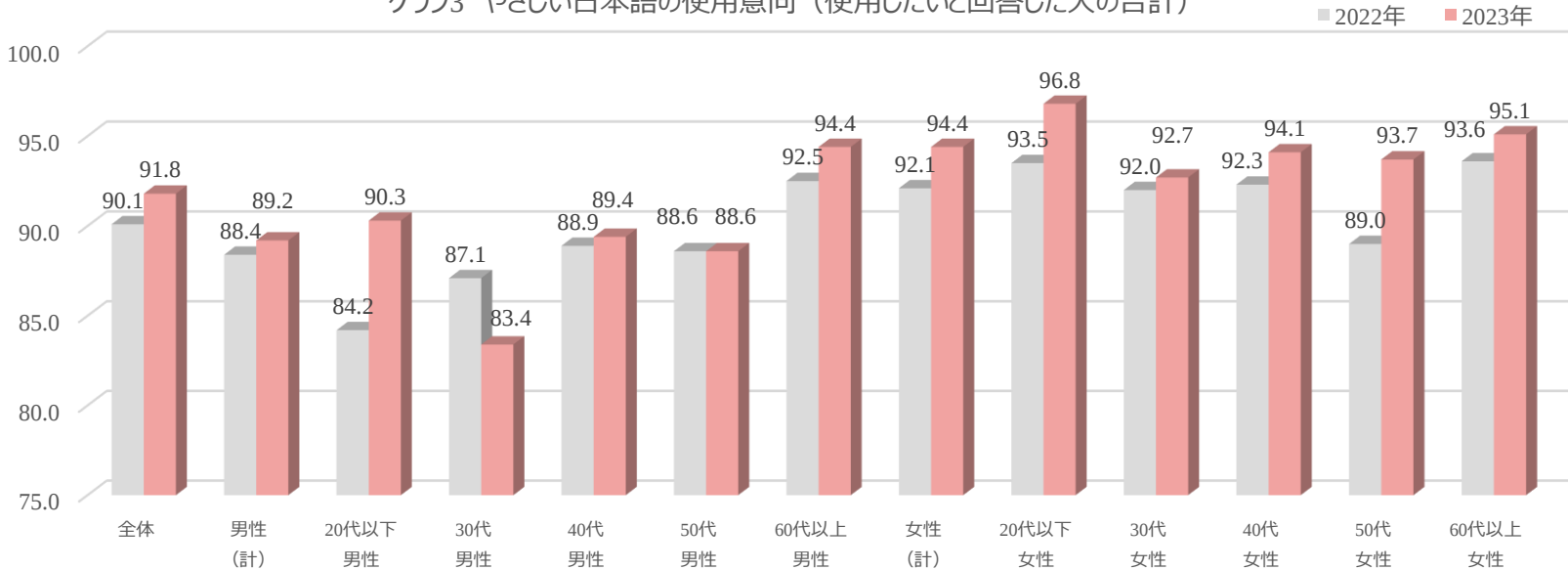
やさしい日本語の使用意向

- やさしい日本語の使用意向について尋ね、「積極的に使いたい」「使いたい」「必要な時があれば使う」と回答した人を「使用したい（計）」として2022年と2023年を比較した。

➤ 「30代男性」と「50代男性」を除いて、全ての性年代において「使用したい（計）」と回答した人は増加傾向にある。

➤ 特に、「20代男性以下」は2022年と比べ6.1ポイント上昇しており、他の性年代と比較して大きく増加している（グラフ3参照）。

グラフ3 やさしい日本語の使用意向（使用したいと回答した人の合計）



やさしい日本語の取組の認知度

- やさしい日本語を知っていると回答した人に災害や行政の情報をやさしい日本語で伝える取り組みを知っているか尋ね、2022年と2023年を比較した。

➤ やさしい日本語の取組の認知度は2022年は58.2%、2023年は57.3%で0.9ポイント減少した（グラフ4参照）。

➤ 回答の内訳をみると、「よく知っている」は2.6ポイント減少、「ある程度知っている」は0.5ポイント減少、「あまり知らないが、見たこと、聞いたことがある」は2.0ポイント増加、「全く知らない」は0.9ポイント増加していることから、全体をとおして、やさしい日本語の取組の認知度は横ばいに推移していることがわかる（表3参照）。

グラフ4 やさしい日本語の取組の認知度

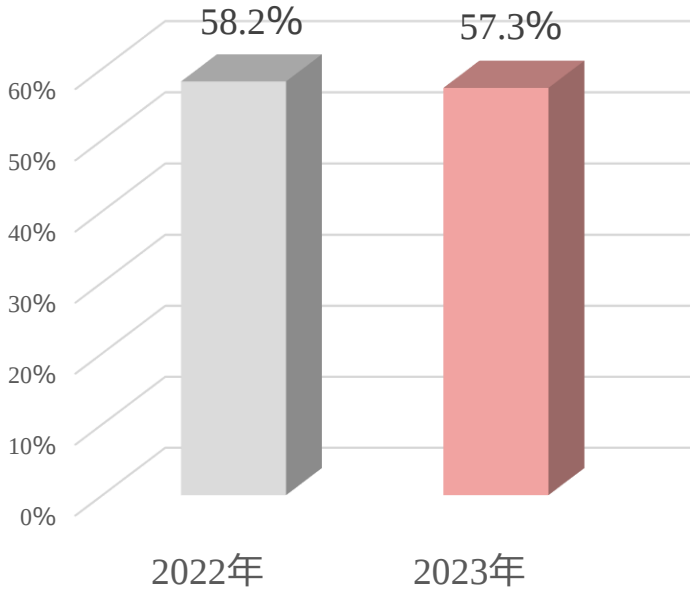


表3 やさしい日本語の取組の認知度

	よく知っている	ある程度知っている	あまり知らないが、見たこと、聞いたことがある	全く知らない	知っている と回答した人の 合計
2022年	6.4	17.4	34.5	41.8	58.2
2023年	3.8	16.9	36.5	42.7	57.3
前年比(%)	⬇ -2.6	➡ -0.5	⬆ 2.0	⬆ 0.9	➡ -0.9

(%)